



日本共産党

北区議会議員

のの山けん区政レポート

http://www3.kitanet.ne.jp/~nonoyama/ E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

No.175 2011.8.11

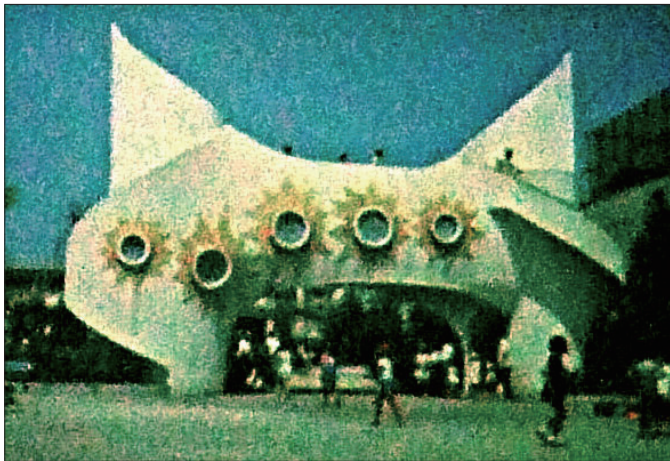
日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

知られざる赤羽公園のルーツが明らかに

「大空の門」は西から東へと 開けゆく赤羽の ゲートだった

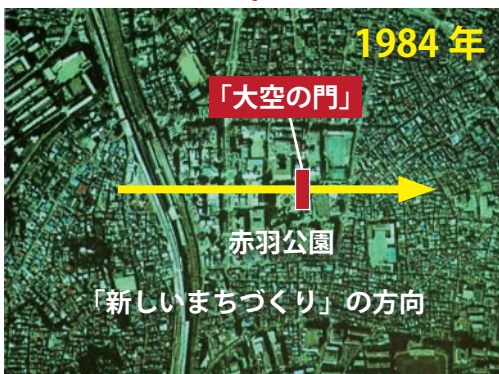


1968年に赤羽公園が完成した当時の「大空の門」

5日、元気ぷらざで第3回赤羽公園遊具説明会が開かれました。説明会では、43年前に赤羽公園をつくった株式会社ANS（当時は前田屋外美術）が、スライドを使って建設の時代背景や遊具に込められた思いなどを紹介。その中で、赤羽公園のシンボルともいえる「大空の門」（アー



チ型すべり台)の秘話が語られました。戦争で焼け野原となった赤羽でしたが、赤羽公園が建設された1968年当時、街は赤羽台地がつくられた西側から開けてきており、その開発・発展の方向は、東口側へと向いていました。この「新しいまちづくり」の矢印の、まさに入口につくられたのが「大空の門」でした。この造形遊具は、これから



発展してゆく未来への時空のゲートだったのです。証言をしたのは「大空の門」を設計したデザイナー。今回、プレゼンをおこなうにあたり取材したところ、「まちづくりと公園の議論が久しくなかったために忘れていたが、赤羽公園をつくる時には、区といっしょにこうした熱い議論をしたものだ」と語ってくれたそうです。（裏面に続く）

←上空から見た赤羽。「大空の門」は街が発展してゆく入口に位置する

「大空の門」はモニュメントとして改修

北区が新提案



大空の門 **改修**



コンビネーション遊具 **新設**



幅広滑り台 **改修**



麒麟の滑り台 **新設**



コンクリートの木 **撤去**

- コンビネーション遊具は、コンクリートの木を撤去した跡地に、小ぶりのものを設置
- 麒麟の滑り台は前より小さいものを南側の敷地に復活

赤羽公園遊具説明会では、利用者アンケート結果や、これまでの議論をふまえて、北区側から新しい提案がありました。

その内容は、①「大空の門」は、遊具としては使用できないものの、改修してモニュメントとして残す、②幅広滑り台は改修、③コンクリートの木は撤去、④コンクリートの

木を撤去した場所に小規模なコンビネーション遊具を新設、⑤南側にあった麒麟の滑り台は、前より小さいものを復活させる、というものです。

説明会では、なるべく早期に仮囲いをはずし、子どもが遊べるようにするため、コンクリートの木の撤去と幅広滑り台の改修を急ぐことを決めました。

9日、北とぴあで第8回北区新庁舎建設基本構想検討会が開かれ、議会選出の委員として出席しました。

今回は主に事業手法と財源対策の考え方について議論しました。

事業手法については、北区自身が事業者へ発注する公共直営（従来方式）か、契約した民間企業に一括して事業を委託するPFI方式かを検討。私は、PFIを導入してスタートしながら、違約金を払って契約解除という結果になった近江八幡市立総合医療センターや高知医療センターの例をあげ、「民間まかせではなく地元中小業者への発注や、地元の雇用をふやせる従来手法で

新庁舎検討会

建設地の見通し立たないまま基本構想策定へ

いくべきだ」と主張しました。

財源については、建設地、敷地面積、積立金の規模など、さまざまなシミュレーションをおこなった上で、おおむね150億円から320億円が必要だと説明がありました。

私は「建設候補地についての検討内容や到達点を教えてほしい」との質問しましたが、区側は「残念ながら、まったく進んでいない」と答えました。

検討会では、建設地の見通しが立たないまま、11月には基本構想案をまとめ、パブリックコメントをへて、来年2月までに基本構想を策定する予定です。

(のの山けん)